

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第二中学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学と理科の3教科を実施しました。

国語と数学の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	76.1%			○		
国語B	61.2%			○		
数学A	66.1%			○		
数学B	46.9%		○			
理科	66.1%			○		

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	75.2%				○	
書くこと	73.9%			○		
読むこと	76.7%			○		
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5%		○			

【考 察】

- 「読むこと」では、文学的文章において、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する問題の正答率は全国を上回りました。さらに説明文において、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるよう指導します。
- 「書くこと」においては、2つの内容を1つにまとめることを苦手とする生徒が多いです。今後は授業の中で定期的を書く活動を取り入れ、文の内容を理解し、整理してまとめる活動を多くします。
- 「伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項」では、文脈に即して漢字を正しく書く力や語句の意味を理解して文脈の中で適切に使う力についてはついていきます。今後も繰り返して練習するだけでなく、辞書を用いて正しい漢字や言葉の意味を調べる活動を大切にします。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	76.6%			○		
書くこと	31.3%					○
読むこと	53.5%				○	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	49.2%					○

【考 察】

- 「読むこと」では、目的に応じて文章を読み、内容を整理することを苦手としています。文章の内容や構造を理解したり、その文章の特徴や、書き手の意図を把握したりしながら、自分の考えをまとめたり深めたりする活動を多くします。
- 「書くこと」では、相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く力についてはついていきます。今後は目的や意図に応じて、取り上げる部分を検討したり、部分同士のつながりが分かりやすく示されているかを確認したりする学習を大切にします。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	71.1%			○		
図 形	69.1%					○
関 数	55.5%	○				
資料の活用	63.5%					○

【考 察】

- 「数と式」の正負の数や方程式の計算は正確にできます。しかし、「文字について解く」力が十分ではありません。今後、等式の変形について復習の機会を設けながら、方程式の復習について支援してまいります。
- 多角形の内角の性質や対称な図形の見方など、図形の基本性質は身につけています。三角形の合同を成り立たせるための辺や角の相当関係については、筋道を立てた説明をするために図形の条件に注目させ、何が等しければ合同になるか考えていきます。
- 資料の活用の領域では、代表値をもとにした資料の傾向の分析はよくできています。確率については、場合の数の数え方などを復習し、求め方について練習させていきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.4%		○			
図 形	46.7%	○				
関 数	52.8%	○				
資料の活用	38.0%	○				

【考 察】

- 「関数」では、グラフから事象を理想化・単純化してその特徴を的確にとらえて解釈する問題が全国平均を下回りました。今後は授業の中で関数関係の事象を考えるにあたっては、表・式・グラフを相互に関連付けて指導していきます。
- 図形の証明をもとにして、新たな性質を見いだしたり、発展的に考え、新たに見いだした事柄を説明したりすることは苦手としています。三角形の合同条件をもとにした図形の証明に慣れるよう繰り返し問題に触れ、論理的に考察し表記できるよう指導していきます。
- 全国平均と比べて無回答がやや多いです。あきらめることなく、最後までねばり強く問題の解き方を考えていくように指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物理的領域	74.4%			○		
化学的領域	65.0%			○		
生物的領域	72.5%					○
地学的領域	57.8%				○	

【考 察】

- どの領域においても、主として「知識」に関する問題では、基礎的・基本的な知識と理解、観察、実験の操作ならびにその計画的な実施と結果の記録や整理の仕方などをよく身につけています。
- 主として「活用」に関する問題では、観察実験を計画する際に「変えない条件」の指摘や説明を適切に行うことができていません。事象が発生する原因や変化する要因を考える場面を増やし、表現する場を授業で設けます。
- 記述式の問題でのつまずきや無答が見られるので、機会をとらえて、自分の考えを言葉で表現させたり、実験経過を説明させたりするよう努めます。

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第二中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思ひます。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合つて、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	10.5	25.9	34.2	16.6	7.9	4.9
3	白河二中	5.4	27.4	46.4	16.1	3.0	1.8

(単位 %)

【考 察】

○ 多くの生徒が毎日継続して家庭学習をしています。意欲的に長時間学習に取り組める生徒は少ない、という結果が出ています。毎日宿題として出されている家庭学習ノートや進路対策学習の他に、受験勉強として取り組むことを具体的に指導し学習の習慣づくりを図ります。

○ スマートフォンやゲーム、インターネットなどは長時間使用すると学習に支障をきたすと考えられます。ご家庭でも再度お子さんと話し合ったり約束事を決めたりするなど、集中して学習に取り組める環境づくりにご協力をよろしく願ひします。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえはしている	あまりしていない	全くしていない
中	全 国	16.6	35.5	34.8	13.0
3	白河二中	20.8	33.9	38.1	7.1

(単位 %)

【考 察】

- 「家庭学習ノート」を毎日の宿題として出しています。生徒は自分で教科や内容を決めて学習しています。ただ単に提出するだけでなく、効果的な取り組みなどを具体的に紹介することにより、学習内容を充実させていきます。
- 定期テスト前にはテスト勉強計画表を作成し、取り組み内容を毎日振り返るようにしています。テスト前には毎日提出していますので、ご家庭でもテスト勉強の学習の様子を確認し、ぜひ励ましの言葉をお願いします。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	全 国	6. 1	8. 7	16. 1	22. 6	13. 5	32. 9
3	白河二中	7. 7	7. 7	20. 8	14. 9	13. 1	35. 7

(単位 %)

【考 察】

- 中学校1年生時と2年生の途中まで朝学習の時間で読書の時間を設けてきましたが、現在3年生の朝学習では進路対策学習を行っており、学校で読書をする時間は取っていないことが読書量の少なさに影響していると考えます。
- 教室が図書室の近くにあるため、3年生に進級してからは昼休みに図書室を使用する生徒が増えています。今後も図書教育を充実させたり、図書委員会の活動を活発にさせたりして本に興味を持たせ、読書の習慣が身に付くよう指導していきます。

4 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

		当てはまる	どちらかとい えば、当ては まる	どちらかとい えば、当ては まらない	当てはまらな い
中	全 国	70. 7	24. 2	3. 5	1. 4
3	白河二中	58. 9	33. 9	6. 0	1. 2

(単位 %)

【考 察】

- 「人の役に立つ人間になりたい」と答える生徒の割合が全国平均と比べて低くなっています。今後、進路を考えていく中でいろいろな人の話を聞いて、人との関わりの中で生きていることを理解させていきます。

- 総合的な学習や学級活動の時間などで進路指導や職業指導を行い、職業について考えたり自分の将来の目標を考えたりさせ、目標に向かって努力できるように支援していきます。
- 特別活動などで自己肯定感を高めて、自分が必要とされる人間であることを実感させるとともに、奉仕の心や思いやりの心を育てる指導をしていきます。ぜひ家庭でも何か良い行いを見かけたら「ありがとう」の声かけをお願いします。